



当初は5棟の低層棟で囲まれていたが、中央にタワー棟が増設され、より陰影深い複雑な構成となっている



日没前に美しくライトアップされたシャトー。手前はケベック開拓の父、サミュエル・ド・シャンプランの像



シャトーの正面エントランス車寄せ。メインとなるタワー棟で、周りを5棟の低層シャトーが囲んでいる



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

フェアモント ル シャトー フロントナック Fairmont Le Château Frontenac

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリアが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で見取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



ケベック旧市街のセントローレンス川を見下ろす高台に、まるでおとぎ話の世界から抜け出したようなフレンチ・シャトースタイルのホテル「Fairmont Le Château Frontenac」が建つ



エントランスホールにあるシャンデリアとシルクのカーテンが映える華麗なラウンジ



タワー棟中央を貫く「ピーコックアレー」。着飾った紳士淑女が孔雀の様に歩く姿に由来する回廊



「Champlain Restaurant」の印象深い中央通路。左右にワインセラーを置いた印象深いレイアウトだ



シェフのステファン・モダットが腕を振るい、カナダ全土でも屈指の評価を受けている



タワー棟の高層階に位置するゴールドフロアにあるフェアモント・ゴールドラウンジ



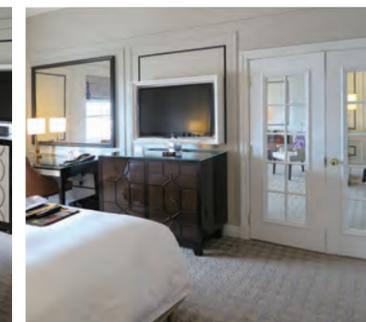
隣にフロマージュの試食コーナーがある「1608-Wine & Cheese Bar」



タワー棟高層階にある「Fairmont Gold Frontenac Suite」のベッドルーム。約62㎡の広さを持ち、セントローレンス川を見渡す気品ある部屋だ。フェアモント・ゴールドラウンジにアクセスできる



広いリビングルームからベッドルーム方向を望む



ベッドルームとリビングはエレガントな両開きのドアで区別されている

カナダ東部、ケベック旧市街の高台にまるでおとぎ話の世界から抜け出したようなシャトーホテルが建っている。ホテルの名は「Fairmont Le Château Frontenac」。フランス総督であったフロントナック伯爵ルイ・ド・ブアド (Louis de Buade de Frontenac) の爵名に由来して命名された。ケベックのランドマークであり、大規模な城郭ホテルとしては極めて特異な存在と言える。カナダ太平洋鉄道 (CPR) の社主であったウィリアム・ヴァンホーンの発案により、鉄道会社がぜいたくな旅行を奨励する施策の一環として建てられた。カナディアンロッキーにある「バンフ・スプリングスホテル」と共に、建築家ブルース・プライスによる設計で1893年に開業した。

ケベックの旧市街はメキシコ以北では現存する唯一の城郭都市となっており、1985年にユネスコの世界遺産に「ケベック旧市街の歴史地区」として登録されている。北米内で最も古い歴史を持つ都市の一つでもある。公用語がフランス語でかつ人々の生活様式や文化・芸術の面でフランス文化が極めて強いという独自性を持つ街だ。実際に旧市街を歩くと、しゃれたオープンカフェやオーベルジュが多く、まるでパリの裏通りの風情が感じられる。

シャトーフロントナックは1924年に中央部分にタワー棟を増設し、スイートを含め全611室の全容が完成した。歴史的なホテルゆえに小さめの部屋が多く、ここではタワー棟にあるゴールドフロアをお勧めしたい。高層階に位置し、ゴールドラウンジで多くのベネフィットを受けられる。筆者にアサインされた部屋は「Fairmont Gold Frontenac Suite」で、約62㎡の広さを持ち、セントローレンス川を見渡す気品ある部屋だ。メインダイニング「Champlain Restaurant」はエグゼクティブシェフのステファン・モダットが腕を振るい、カナダ全土でも屈指の評価を受けている。そのほか「Bistro Le Sam」、「1608-Wine & Cheese Bar」などが人気だ。スパ施設「Spa du Château」では豊富なスパメニューを誇り、併設した「Club Frontenac」ではスイミングプールやヘルスクラブを用意している。

シャトーフロントナックはセントローレンス川を見下ろす高台に建ち、緑青の吹いた銅葺き屋根とレンガの壁に窓の白い縁飾りが特徴のフレンチ・ロマネスク風の堂々たる城郭建築である。当初は5棟の低層棟で囲まれていたが、中央コートヤードにタワー棟が増設され、より陰影深い複雑な構成となっている。世界でも類を見ない麗しき歴史のホテルと言えよう。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円 (本体価格)

www.ohtapub.co.jp/worldhotel/

